

故事成語総合テスト⑤(100点)

書く・選ぶをまぜた、まとめのテスト

なまえ

ひづけ

/100

答えは、どの問題も左の□に書きましょう。()に入る漢字は1字、選ぶ問題は記号です。
点数は大問の見出しに書いてあります。15分を目安に、全部で100点をめざしましょう。

一 書く問題(1問10点)

(1) 「柳は()花は紅」

ヒント:自然のままで、人の手が加わっていないこと

(2) 「鹿を追う者は()を見ず」

ヒント:目先の利益に心を奪われると、全体が見えなくなること

(3) 「千慮の()失」

ヒント:知恵者でも、時には失敗することがあるということ

二 意味を選ぶ問題(1問10点)

(4) 「青天の霹靂」の意味はどれですか?

☐

ア 雷が鳴り響くような激しい怒り
ウ 突然起こる思いがけない出来事

イ 晴れた日に突然雨が降ること
エ 空が急に暗くなるような不安な予感

(5) 「犬馬の労」の意味はどれですか?

☐

ア 無駄な努力を繰り返すこと
ウ 相手の働きをほめてたたえる言葉

イ 自分の労苦をへりくだってという言葉
エ 犬や馬の世話をする仕事のたいへんさ

(6) 「馬脚を現す」の意味はどれですか?

☐

ア 隠し事がバレて逃げ出すこと
ウ 馬が足を痛めて歩けなくなること

イ 実力不足で恥をかくこと
エ 隠していた本性や悪事が露見すること

三 もとの話を選ぶ問題(1問20点)

(7) 「三舎を避ける」のもとになった話はどれですか?

☐

ア 国を追われた重耳が、楚で戦場で会えば退くと約束し、のち君主となって約束を守った話
イ 杞の国の人が、天が落ちてくるのではないかと心配して、食事ものを通らなかった話
ウ 猿に与えるトチの実の数を朝に三つ、夕に四つと言い、猿が怒ったので逆に喜ばせた話
エ 孟子の母が、子どもの教育のためにより環境をもとめて、住まいを三度移した話

(8) 「刎頸の交わり」のもとになった話はどれですか?

☐

ア 宋の猿飼いが、猿にトチの実を朝三つ夕四つと言うと怒り、朝四つ夕三つで喜んだ話
イ 楚の商人が、どんな盾も突き通す矛とどんな矛も防ぐ盾を売り、客に問われて困った話
ウ 梁の画家が、壁に竜の絵を描いて最後に目を入れると、竜が天へ昇っていった話
エ 趙の藺相如が、国のために将軍廉頗との争いを避け、廉頗がわびて深い仲になった話

